

合による契約解除という明記はあったのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

行政都合によるということでの明確な規定はございませんけれども、契約解除に関わる条文がございますので、そういったものに基づきまして、今、契約解除の協議を進めさせていただいているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

後は、特別委員会でやらせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

以上で、阿部議員の一般質問が終わりました。

11時30分まで休憩といたします。

〈午前11時15分 休憩〉

〈午前11時30分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。〔4番 渡辺栄一君登壇〕

○4番（渡辺栄一君）

渡辺栄一でございます。

2期目に当たりまして、糸魚川市内での暮らしやすさ、住みやすさを思い描きながら、市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し、活動することで、当市の翠の交流都市、さわやか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。引き続きよろしくお願いたします。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、新市長の市政全般の抱負と見通しについて。

久保田新市長の市政全般の抱負と見通しについて伺います。

- (1) 選挙戦で訴えてきた「縮充」は、過渡期の知恵であって、過疎化を容認したり、にぎわいを取り戻すことを諦めるものではないと推察するが、「縮充」の概念を説明してほしい。
- (2) まちのにぎわいを取り戻してほしいと願う市民の声を、市長はどう受け止めるか。
- (3) 企業や教育機関の誘致をどのように考えているか。
- (4) 糸魚川総合病院の存続・充実について、具体的な施策や見通しはあるか。
- (5) 大糸線などの市内交通インフラの確保については、どのような見通しを持っているか。

2、(仮称) 駅北子育て支援複合施設整備計画について。

選挙戦の焦点となり、市長が「見直し」を主張した(仮称) 駅北子育て支援複合施設整備計画について伺います。

- (1) 市は、解体工事の不調の原因を明らかにせずに、解体区域を隣接する宮田ビルまで広げる予算案を提案しているが、その理由や解体後の用途を含めた説明を求めたいと考えるが、いかがか。
- (2) 解体の予算が、従来より大きく膨らむことになるが、国の補助金などは、どのように支出されるのか。市の支出や負債は、どのような見通しとなるのか。
- (3) 今回の補正予算議案が、選挙戦での市長の公約と整合性があるものなのか、伺います。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(古畑浩一君)

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長(久保田郁夫君)

渡辺議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、私が考える「縮充」は、人口減少・少子高齢化という現実をしっかり受け止める中で、市民一人一人が自分らしい生き方、暮らし方を大切に、地域の魅力を高め、充実した社会を目指すというものであります。

2点目につきましては、まちのにぎわいは行政だけではなく、市民の皆様と一緒に創り出すものと考えております。

市民の皆様と対話する中で、にぎわいの創出に向けた取組を進めてまいります。

3点目につきましては、新たな雇用の場の確保と若者の地元定着を図るため、地元企業と連携し、事業拡大や新規事業への参入等につながる取組を促進します。

教育機関の誘致につきましては、当市の特有の自然や地質、歴史文化は、学生が研究するフィールドとして適していると考えております。既に地質の分野では、新潟大学のサテライトミュージアムとして相互に活動しており、それ以外の分野では、現在、連携協定を締結している新潟食料農業大学などとのサテライトキャンパスの設置に向けて、協議してまいります。

4点目につきましては、現在、県を中心に、地域医療構想に基づく医療機関の役割分担、連携や人材確保に向けた仕組みづくりの調整を進めており、並行して、今後の診療体制や必要となる支援策について、糸魚川総合病院と協議を行っているところであります。

5点目につきましては、人口減少による利用者の減少が続く中、利用促進に取り組むとともに、

路線バスやタクシーなどでは、運転手の確保などの課題があることから、地域に出向いて市民の意見を聞くとともに、事業者と連携して取り組んでまいります。

2番目につきましては、現計画での建物建設は中止します。今後、計画地の利活用案を検討してまいります。旧宮田ビルは老朽化により早期に解体する必要があると考えており、計画地に近いことから、解体後の土地の利活用も併せて、国補助事業の計画を継続することで財政負担の軽減が図られるものと考えております。

以上、ご質問にお応えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

それでは、2回目の質問に入ります。

順番を変えて、2番目の質問についてからお願いいたします。

（仮称）駅北子育て支援複合施設整備計画についてであります。

数字の確認となりますけれども、同施設の整備費は約14億3,000万円とありまして、今年1月の広報いといがわですね、この広報です。ここに、このように記載されておるんですけども、そこには、設計建設費は12億4,185万円と記載されております。約2億円の差額があるかと思えますけれども、どちらの数字が正しいのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

議員おっしゃる、今年の広報1月号に載りました設計建設費の12億4,185万円、こちらにつきましては、今回のDBOでの建物の設計と建設に関わる費用の総額がこちらの金額ということでございます。最初におっしゃられた14億といったところにつきましては、既存ビルの用地取得等の土地取得費用も含めて、また解体費も含めた総額ということで、そちらの金額となっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

子育てを全力応援、ここには書いてございます。子育てするなら糸魚川とうたって、ナンバー5というふうに書いてありまして、総事業費ということで、やはり丁寧に記載してほしかったと思います。そうすると、何か見た感じ2億円安くなってるのかなと、安くなったのかなというふうに思ってしまうので、大変大きな買物でしたので、安くなったわけではないということなんで、こ

れは、意見としてお願いいたします。

見直しとして、やはり子育て支援というのは、やはり大切だと思いますけれども、やはり一番分かりやすいのが、やっぱり子供がいない、糸魚川から人がいなくなっていることに尽きるのではないかとこのように思います。

今年も既にもう半年が経過しておりますけれども、私、毎月広報のいといがわ、広報のいといがわと申しますか、市の様子というものを毎月見ているんですけども、やっぱり自然減に加えて転入者が転出者より上回ったのは今年の1月1日現在のときだけで、58人に対し55人で、この転入者が3名多かっただけで、あとは本当にこの転出者が上回っておるとい状況です。

出生数に関しては、今年に入ってから15名を超えるというようなことはなくて、5月、6月は5人、9人と、それぞれそういったことで一桁となっているような状況なんですけれども、そこら辺はどういう、どのように考えているか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

確かに市内での出生数というものは、ここ数年減少傾向にあるといったところは間違いないというふうに思っております。

ただ、そういった中でも、実際に今、市内で子育てをしていらっしゃる方もいらっしゃいます。お子さん連れで転入してこられる方も中にはいらっしゃいます。やはりそういった方々に、しっかりとした子育て支援の体制を整えていくといったところが重要だというふうに考えておりますので、そういった視点をしっかりと持ちながら、今後も取組を進めていきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

次に、当初、発達支援センターめだか園が、糸魚川子育て支援センターと隣接をしておいて、その利用状況が多くなって、手狭となっているということなんですけれども、このことについては変化というものはないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

やはり発達に課題のあるお子さんというのの数は、やはり子供の数が減っていく中でも一定程度いらっしゃる状況がございまして、今、議員おっしゃるような形で、当初、以前はめだか園の利用状況というのがかなり窮屈な状況といったところがございました。

ただ、ここ数年、子供の数の減少といったところもある中で、何とか今工夫する中で、めだか園のほうは運営させていただいているといったような状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

あまりそういった切迫した声というのが聞こえてこないというのは何でなのかなということなんですけど、その業務に当たっているその職員の方が、無理を強いられているんじゃないかということなんですけど、そこら辺はどうなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

特段、職員に無理をさせているというような認識はございません。

ただ、そのめだか園で対応し切れないお子さんにつきましては、それぞれ所属されている園とかで、そういったところにうちの専門職のほうが出向きまして、園のほうに、それぞれの園の職員の方に助言ですとか、指導させていただく中で対応させていただいているといった部分もございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

何となくぼんやりと理解はいたしました。

それでは、旧宮田ビルまで広げることで、工事の解体作業というのが行いやすくなるものなのかどうなのか、そこら辺はいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

宮田ビルの解体をすることによりまして、これまで1方向から想定していた部分が、もう1方向からといったところも想定できますので、そういった部分ではメリットはあると思っておりますし、また、同時に解体をするといった中では、周辺地域の方への迷惑・影響といったところも軽減できるというふうには考えているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

この旧東北電力ビルの、その解体費9,800万円なんですけども、これよりも大きくなっている金額、金額が大きくなっているこの理由というのは、どうしてなのかなとかですね、あるいは、また全体でやはり2億5,000万円というお金もかかるということなんですけど、これを、この金額が要するということをごどのように思っているか、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

既存ビルの解体につきましては、昨年度、入札を実施する中で、5回実施する中で不調という形で終わっております。それらを踏まえまして、庁舎内部でも検討させていただき、また、新年度に入りまして事業者さんのほうから参考見積り等も徴収させていただく中で、今回の補正予算の金額を出させていただいたというところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

単純に建物の面積でいくと、旧東北電力ビルのほうが2倍近いというんでしょうか、かなり大きな建物になって、旧宮田ビルのほうが半分というような感じなんですけども、そこら辺ちょっと違和感というわけじゃないんですけども、そこら辺感じてしまうんですけど、そこら辺はあまり関係ないといいますか、どうなんでしょうか、そこら辺、素人から見ると、何か違うんじゃないかなって思ってしまうんですけど、そこら辺はいかがなんでしょうか。先ほど言った、この参考見積りというのは、かなり有力なものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

昨年度、予算のほうで認めていただきました9,800万円の解体費を令和7年度のほうに繰り越しさせていただいております。今回、債務負担行為の追加ということで金額のほうを追加させていただきまして、総額2億5,000万円というような予算になっておりますけれども、その増えた分が、全て宮田ビルという認識でいるわけではございませんで、2棟合わせてそちらの2億5,000万円ということでの認識でご提案をさせていただいているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ちょっと理解が私はできないので、これはまた、ほかの委員会でといたしますか、別の委員会でのことになろうかと思っておりますので、これは、ここでやめておきます。

今後、解体後の用途については、どのように進めていくのか。

また、この利活用案として、子育てに絡めて、汎用性のあるものとは、具体的にどのようなものが想像できるのか、ちょっとイメージが湧かないので教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

先ほど阿部議員のほうにもお話しさせていただいた部分を、改めてもう一度お話しさせていただきますが、まず、解体後については、まず、多機能面の本質的な再考をしたい。いわゆる子供の創造性を豊かにして、子供の創造性を基にした整備計画をしたいということで、それが一つの汎用性になってくる。いわゆる子供が、その場所をこうやって使いたい、そのために協力してくれる人が、そこに存在してくるという部分で、参加型のまちづくりへの転換をしたいということが一つです。

それと、その全体像としては、宮田ビルまで含めた解体をする中において、子供を、いわゆる使う側の子供たちが、そこにこうしたい、ああしたいという、そういう創造的な部分を持ってこれるような整備をしたいということです。

先ほど阿部議員のほうにもご指摘ありましたけど、図面がないとよく分からないということではありますが、その図面的な部分については、まだこれからお示しする段階には、まだ現在なっておりませんので、イメージをそういうふうな、多機能面で子供たちの創造性を育めるようなものにしつらえていきたいという部分が、考え方で、事務方のほうに、そういう部分で対応していただきたいという部分を申しておるということでもあります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

そうすると、何かまたあそこに何か建物としては、キターレみたいなそういったものが建つかもしれないというような、そういうイメージでよろしいんでしょうか。先ほど、多機能面というと、ちょっと意味がよく分からなくて、そういった、何かあそこへ、まず、子供が集まると、来るというような、そういうイメージで、持ってよろしいのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

基本的に建物を建てようという部分ではなくて、その空間をきちっと確保したものにしたいたいということ、その空間をつくることによって、また雨等をしのげるような、当然ものも必要だと思いますけれども、そこに子供たちが自由な発想で、こういうふうな遊び場をつくりたいとか、こういうものがあればいいなという部分を、子供たちの創造性から次なる展開、いわゆる建設事業者にそういう部分をお願いするとか、そういう部分が、参加型という部分についてはそういう形を取っていきたいということでありまして。ですので、まず、全体的な部分で空間をつくっていききたいというイメージを持っていただければと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

何となく市長がおっしゃっているのは、今の解釈からすると、私、青海にあるドームみたいなそういうイメージでよろしいのでしょうか。やっぱりちょっと雨が当たらないといいますか、そういう施設といいますか、あの中で遊んだりしている方もいるんで、子供もいるんで、そういうイメージなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

イメージは、それぞれすごく膨らんでいると思うんですね。今、渡辺議員がおっしゃるようなドーム型というふうには考えてはいないですけども、やっぱりある程度、雨が降った場合には、そこに下で雨にぬれない場所が、確保しなければいけないとか、そういうものは必然的に、空間をつくる際に必要なものは取りそろえていかなければいけないとは思っています。

また、そういう中においていえば、今頑張っている事業者、とくし丸とか、またセブーンイレブンの移動だとか、またキッチンカーとだとかいうものが、そこに入ってこれるようなスペースがあれば、また人が集って、子供たちがそこで遊びながら何かできるようなことにもなろうかと思っております。そういうふうな、市民参加型ができるような空間づくりをしたいというイメージを持っていただければと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

まだちょっとはつきり、ぼんやりとして分かりませんでしたけれども、仮に今後、当初中止ということで年間運営費が仮に5,000万円浮くというわけじゃないんですけども、投資しなくてもよくなったというわけじゃないんですけども、年間150人の子供が、生まれた子供に何か手当とか、そういったことというのは考えというのがありますでしょうか。やっぱり何か選択と集中と先ほどからおっしゃられておるので、何かもし仮にこの運営費5,000万円が何かほかのほうへ有効に使うことができればと思うんですけども、そこら辺の考えというのはないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

先ほど4点の中で説明したように、財政負担という部分をもう少し見直そうということで、今後起きるであろうということ为先読みをする必要もあると思うんですね。そうすると、保育園等の民営化というものがあまして、そこにオペレーション、運営してくるサイドが、民営化によって入ります。そうすることによって、その民営化をしたその施設の中で、保育以前の問題がそこで生じたときに、そのオペレーションの中にそれを見合ってくれば、必然的に財政の一本化というのが図られてくるというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

久保田市長がおっしゃられる10年先のまちづくりに資する、生きた投資となってもらいたいというふうに思います。無駄なお金というのは使ってほしくないですし、すっきりしませんので、そこら辺はよろしく願いいたします。

それと、市長選挙が行われて、やはり首長が替われば、物の見方、あるいは考え方というのも当然違ってくるかと思しますので、この（仮称）駅北子育て整備計画については、以上で質問はやめたいと思っております。

次に、新市長の市長全般の抱負と見通しについてであります。

今からちょうど4年前の6月は、4万850人以上いたかと思えます。当月は3万7,471人で、3,379人ばかり減っておるということになっておりますけれども、久保田市長がやられている縮充という言葉なんですけれど、人口がもう減ってきて悲観的になるのではなく、糸魚川市にいてよかったと思えるまちづくりというものを目指すということなんだろうけれども、当たり前といえば当たりの考え方だと思うんですけども。あと、どのぐらい待っていれば、生活の質というものは向上してくるものなんだろうかと、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

私、先ほど申しましたようにもうちょっとイメージを持っていただくにはちょっと言葉足らずの部分があったかと思います。まず、私の目指す部分については、現時点であるものが、10年後の姿を見据えたという部分で考えております。

先ほど交流人口と関係人口という言葉を使って、最初の答弁させていただきますが、もう一つ加えるとしたら、活動人口という表現なんですね。活動人口というのは、地域に対して誇り、愛着を持って、地域づくりに積極的に関わる人、人々のこと。交流人口とか定住云々という部分以外のところで活動人口を増やしたい。それには、やっぱり今、非常に糸魚川におけるポテンシャルというのはあるんですね。イベントをすると結構人が集まります。地域活動への参加者が増加していくような形、それと地域資源を活用する人たちが増加してくる。地域の特産品を販売する。地域資源を生かしたビジネスを展開する。それがふるさと納税に進展したりするというケース。

それと地域課題の解決に取り組む人たち、事業所をアプローチしていく。そうすることによって、いろんな地域の問題を解決する。行政だけでは解決できないものも、そこで出てくるであろう。

それと、地域を応援する人たちの参画を促す。今回地方創生2.0でお示したように、ふるさと住民登録制とかいろんなものが出てきています。そういう中で、地域を応援する人たちも取り組んでいきたいという部分。昨日のお話の中で、セカンド市民という言葉を使いましたが、そういう人たちの活動人口をまず増やしていくということが、地域の活性化になってくるんじゃないかというふうに考えております。

以上です。

○議長（古畑浩一君）

一般質問の途中ではございますが、昼食時限のため13時まで休憩といたします。

〈午前11時59分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

午前中に引き続き一般質問を行います。

渡辺議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

先ほど市民参加型のまちづくりということで、対話というものを重視されているのだらうと思いますが、市長が今後、具体的な手法としてどのようなことを考えておるのか、特定の個人だとか、あるいは団体というものではないということによろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えいたします。

まずは、第一の出発点としては一番身近にある議員の皆様が吸い取ってくる市民の声をまずお伝えしていただきたい。その中で、各地区長、区長会、また、能生、青海によっては自治会長、自治会等ございます。そういう中で、代表の方から、まず、意見を伺うような機会は必要と思っております。その後、時間がある場合には、皆様からいただいた声を基にこういう地域、こういう声を聞いていただきたいということがあれば、時間の許す限りそういうところに向いていくというのも一つの方法かと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ぜひ市長、いろいろ出向いて、我々も声を発してまいりますので、ぜひ意見を受け入れていただきたいと、そのように思います。よろしくお願いします。

それでは、まちのにぎわいということで、やはりこのシャッター街というものを解消してもらいたいということなんですけども、新幹線で、一旦降りてみたくなるような、このまちづくりができないものかということなんですけども、こういった庁内でアイデアを出してもらえないかというふうに思っておるんですけど、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

市長からは、ロの字商店街の件について触れられたコメントがございました。以前の人口減少社会、または車社会、あとスーパー、コンビニ、ドラッグストア等ができて、かなり豊かになってきていると思っております。日用品や衣料品なども通販等で非常に手に入りやすくなったり、決定的なものは、スマートフォンの普及かと思っております。こういったものを豊かになった現実と受け止めて、商店街の衰退は、ある意味、致し方ないものかというふうに思っております。形態は変え、変化していくものというふうに思っておりますが、議員ご指摘のように、駅を降りて、例えばまちがにぎわっていて歩きたくなる。わざわざ駅で降りたくなるということは、当然必要だと思います。取り戻すというよりは、新たな火を灯すとでも言いましょうか、人が訪れる目的となるもの、コンテンツですとか、ことや物が大切であるというふうに考えております。

商店の皆様については、なりわいをされて、商いをされてきて、経済を循環されてきたものと思っておりますので、そういった知恵と、または新たな投資や新しい人、事業への参入を期待したいものであります。地域のアイデア次第では、にぎわいの可能性は十分あるというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ただ、今のままでは閉じたままでなかなか、こういう言い方は失礼かもしれませんが、ぱっとしないような感じだと思うんですけども、そこら辺、もう一つ、一步踏み込んで、やっぱり何かアイデアなり、もうちょっと寄り添うような、そういったことができないものかということなんですけど、そこら辺は、やはりもう行政は、もうこれ以上は無理だというふうにお考えでしょうか。それともうちょっと寄り添うような形で、やっぱり商店街の方ともちょっとお話を持つとか、そういったことはされないものなのかということなんですけど、そこら辺、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

実際、商店街には小さな個人経営の事業者が多いというふうに捉えております。基本的に自社の事業がまず中心になるかと思うんですけども。それに地域活動、また商店街活動については余力がある方々、そこまで余力がある方々が少なかったのが現状かというふうに捉えております。

ロの字商店街、糸魚川広域商店街の皆様につきましては、新幹線開業に合わせて、にぎわい創出の計画を立てられて取り組んでこられたというふうに認識しております。結果については、皆さんにご判断いただければというふうに思いますけれども、こういった取組がなければ、もっと深刻な状態を招いていたかもしれません。商店街のにぎわい創出については、終わりのない取組になると思っておりますし、我々行政としましても、新たな取組が必要な段階に来ているというふうに思っております。

また、駅北大火であったりコロナであったり、そういったものを乗り越えてこられたタイミングでもありますので、また、ある意味、仕切り直しをして、働きかけていきたいというふうに考えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ぜひ継続して、寄り添う形で引き続きお願いいたします。

それでは、次の3番目でありますけれども、やはり前回もそうだったんですけども、この第三次総合計画にも記載のとおり、やっぱり糸魚川には、やはりもうちょっと企業誘致といいますか、そういったものがやっぱり必要じゃないかということで、また、記載のとおり読ませていただきますけれども、企業の拠点誘致として、新たな雇用の場の確保と産業活動の活発化を図るため、市内3か所の産業団地等への企業誘致活動を展開するほか、本社機能等の移転調査、姫川港の機能を生かしたりサイクル企業の誘致など、新たな産業分野に対応した誘致活動を推進するとあります。

やはり何回もくどいようなんですけども、やはり企業、あるいはこの工場誘致に尽きると思うん

ですけれども、そこら辺は改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

企業誘致につきましては、古くから糸魚川市内、青海地域、能生地域におきましても産業団地を位置づけて整備をしてきたことは事実でございます。ご指摘のとおり、総合計画にもそういった記載がございまして、総論的に企業誘致は必要だという考え方に、根底には変わりはないものというふうに捉えております。

現状、市長答弁にもございましたけれども、当市の場合におきましては、当地域の産業を支えてきていただいた、まず、地元の企業の事業拡大を最優先に考えております。糸魚川市内については労働力不足が慢性的な状態になっておりますので、新たな工場誘致等については慎重な判断が必要であるというふうに捉えております。労働力が奪い合いにならないような業種につきましては、積極的に誘致する可能性は十分あるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

それはあまり遠慮する必要はないかと思うんですけどね。やっぱり積極的にぶん取るつもりでやっぱりいっていただかないと、ちょっとそれでは弱いんじゃないかと思うんですけどね。やっぱり糸魚川は真剣に、工場誘致あるいは企業誘致をやってるんだというようなことを示していただかないと、やっぱりみんな公務員というわけにいかないんで、ぜひそこら辺、課長が先頭に立って、お願いしたいんですけど、再度いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

特に若者の就職希望者が少なくなっておりまして、少子化による、もともとの分母が少ない中で、地元に残る就職者が激減しているのが現状です。市内の高校卒業、新卒の求人倍率は4倍を超える年もございました。製造業、建設業ともに糸魚川市の基幹産業でございますが、求人に対して求職者がかなり少ない状況が見えております。新たな企業が進出して、市外に就職で出ている方がとどまるということであれば、非常に面白いというふうに思うんですけども、現状、高校生の進路を分析しますと、やはり出身地に戻られるような傾向がございまして、そういった意味では、既存企業との生徒の奪い合いになる公算が高いとは思っております。

ただ、繰り返しになりますけれども、例えばIT企業であるとか、女性や高齢者が働けるような企業である等、そういった誘致には努めてまいりたいというふうに考えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

これはもう久保田新市長に、もうお願いするしかないですね。やっぱりトップセールスで、ぜひ糸魚川に企業を誘致していただきたいと思います。そんな大きい企業じゃなくても私はいいと思うんですけども、何か一個一個積み重ねて、一步一步こうやっていただきたいと思うんですが、そこら辺お願いしたいんですけど、よろしくお願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

鋭意努力はさせていただきますけども、今、当該課長も申しましたとおり、奪い合いにならないような形も必要ですし、また、それを踏まえてどういう人材を糸魚川に持っていきたいのかという部分も、いろんな担当課、いろんな話を聞かなきゃいけないと思います。

もう一つは、やはり企業を誘導するには、やっぱり高校から、もう少し先の高等教育機関の学生たちが、この町なかにいるということも必要になってくると思いますので、まず、大学生、専門学校等の高等教育機関をしっかりとどういう形でこちらのほうに持ってくるのか、そして、それにつながってくる企業がどうなるのかという部分も含めて考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

教育機関ということが出ましたので、先月17日に私、新潟食料農業大学の学生が、棚田みらい応援団ということで東塚地区のほうにも来ていただきまして、私も田植もさせてもらったし、去年は稲刈りというようなこともさせていただいて、大分、新潟食料農業大学の学生が、男女問わず来ていただいて、そういった農業に携わってといいますかね、1日というか本当に半日ぐらいなんですけども、そういう感じで体験していただいているというような状況なんですけども。

先ほど市長答弁にもあったとおり、このサテライトキャンパスというのはどういうものなのか。私が学生の頃にサテライトキャンパスなんてのはあんまりなかったものですし、今想像するには、一定期間当市に滞在されて、この授業を受けないと単位が取れない、もらえないのか、そういったものなのか。ちょっとイメージが湧かないのですけれども、そこら辺のサテライトキャンパスというのはどういうものなのか、教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

今、大学等のカリキュラムのつくり方によっては、一定期間地方に滞在して、その地方の課題解決をするとか、その地方の課題に合わせた学習、もしくはゼミ活動をして、一定の単位を取るといふ部分がございます。もっと大きな視野で言えば、ミネルバ大学という大学は、キャンパスを持たないで世界各地に学生が点在して、そのところで学習、いわゆる研究をして、単位を取っていくという、いわゆる座学以外の単位修得を今、日本の大学でも重視してるということなんで、そういうふうな地方の課題解決を資する学生が、一定期間、糸魚川のほうに来て滞在し、研究もしくは課題解決をしていくという取組が、サテライトという部分でイメージをしています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

今、新潟食料農業大学と、そういった業務提携というんでしょうか、そういったものをされつつあるということですね。さらに、当大学に新学部と申しますか、やっぱりこのサテライトではなくて、やはり新学部というものをやっぱり誘致できないもんかと思うんですけどね。今、当大学は、新潟市と、たしか胎内市にあらうかと思うんですけど、そこら辺はいかがでしょうか市長、トップセールスでいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

新学部という部分については、非常に厳しいと思います。基本的に学部を設置するに当たっては、そこにきちっとした建物、キャンパスがないとならない。キャンパスを造る上での整備計画というのは非常に難しいと思っています。

ただ、1つ今動いているのは、某大学の通信課程を持ってきて、その通信課程によって、その大学卒業までの過程ができるというふうなところも1点、一つだけ今動いている形がありますので、通信的な大学によって学生が、糸魚川の学生が、そのまま糸魚川にいながら、また、通信教育によって4年間単位を修得できるという方法も、1つ考えるべきだと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ぜひ学生、若い学生と申しますかね、ぜひ糸魚川に確保していただけるようにと思っておりますので、引き続きお願いいたします。

次に、糸魚川総合病院に関してであります。

経営が厳しいということは周知されておるんですけども、市内で唯一の総合病院でございます。

市民が安心して医療が受けられるように、引き続き、体制というものを強化してほしいと思いますけども、そこら辺はいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

林健康増進課長。〔健康増進課長 林 壮一君登壇〕

○健康増進課長（林 壮一君）

お答えいたします。

市長答弁のとおりでございますが、ただいま地域医療構想、こちらが上越圏域の中で進められております。この進捗に合わせて、厚生連の経営改革、同時に進められております。

そんな中で、厚生連本部と糸魚川総合病院、そして私ども糸魚川市とでいろいろ協議をさせていただきながら、今後の病院の在り方、存続できる体制というものを構築していきたいというものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

そうすると、特に救急医療の対策であるとか、あるいは産科医、医師の確保だとかそういったことが、割と懸念といいますか大事なんだろうとは思んですけど、そこら辺は、これからも続いていけるというふうに思ってよろしいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

林健康増進課長。〔健康増進課長 林 壮一君登壇〕

○健康増進課長（林 壮一君）

お答えいたします。

今ほどおっしゃられた救急医療でありますとか産科医療につきましては、当市においても、必ずや必要な医療の部分だというふうに思ってますし、これまでもかなり力を入れて維持してまいったところでございます。今後もその辺を重点的に維持できるように協議を進めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

かなり、何ていうんですかね、高額な金額を糸魚川総合病院さんのほうに支出されていると思うんで、引き続きよろしく願いいたします。

次に、（5）番であります。大糸線については、昨日ですか、和泉議員の一般質問なんかでもありましたけれども、年々増加傾向にあるということは、非常に喜ばしいことなんですけれども。

ただ、JR西日本としては、従来の見解を述べているといいますか、非常に持続可能な交通体系の議論を加速させなければならないというようなコメントもありまして、油断ができないということでもあります。仮に、廃止ということになれば、糸魚川へ来る機会というのはやっぱり減ってまい

りますし、やはり存続に向けて、やっぱり頑張ってもらいたいというふうに思っておりますけれども、改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

和泉議員の答弁でもお答えさせていただいたとおり、私ども大糸線に関しましては、もともと塩の道として昔から使われていたルートということで、非常に重要だというふうに考えております。人口減少等で利用者の数というのは減っておりますけれども、白馬方面の最近の観光、インバウンドの盛り上がり、こういったところもありますので、こういったところをアピールしながら鉄道の存続といったところは、地元として要望していきたいというふうに考えております。

また、鉄道が途切れるという点について、国としてどう考えるかというところもありますので、国に対しても、この見解について、要望していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ぜひ大糸線は、やっぱり大事な路線だと私は思っております。ゆっくり首都圏にも行けるというようなこともございますので、ぜひこの大糸線に関しては、やっぱり頑張ってもらいたいなというふうに思っております。

それと、今年度も大糸線臨時増便バスというのが出ているということなんですけれども、ちょっと去年と違いますかね、令和6年度とは違うような形になってるかと思うんですけれども、これは周知されておるのでしょうか。非常に、何ていうんでしょうかね、土曜日と日曜日と祝日を中心に1日3往復というようなことで、日にちも、たしか毎日では、毎日と違いますか、そうではない感じなんですけど、そこら辺は周知のほうは大丈夫なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

今年度は、昨年やったアンケートの結果を基にルートも変更させていただいております。やはり白馬方面のスキー場、観光地に直接アクセスしたいという要望がございましたし、それから1年間やってみて、やはり平日の利用というのがやっぱり少ない部分と、あと紅葉の時期ですとか新緑の時期、やっぱりシーズンがある程度見えてきたというところがございます。こういったところを限定的に運行させていただいて、乗車率を上げるという、私ども今回、実証実験という形でやっておりますけれども、やはり数字というものが、最後はJRに対して示していくものになってきますので、そういったところも含めて、ニーズの高いところを運行するというところで、今回は選択させてい

ただいております。

それから、周知という点ではございますけども、皆さん旅行者の方々、検索を大体今されるということで、この辺については、日が毎日じゃなくても、検索にヒットするように登録をさせていただいているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

分かりました。引き続きよろしく願いいたします。

あと、和泉議員からもあったかと思うんですけども、大糸線の応援隊ですね、もう3,600人を超えているということなんですけども、隊員の方への観光案内だとか、あるいは通販カタログ等の、そういった働きかけというんでしょうかね、特に年配の方が、割と通信が非常に弱い部分があって、そこら辺のサポートというんでしょうかね、そういったことは考えていないんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

応援隊の皆様には、毎月1回程度のブログというような形で、地元の情報ですとか、今、増便バスをやったり、利用促進の取組についてなど、情報として送らせていただいております。そういった中で、隊員同士の方々の、SNSでつながっていただいている情報交換などしていただいている例もございますので、そういったところは広げていただいている、大糸線の利用促進という点で盛り上げていただければなというふうには考えております。

高齢者の方々の部分に関しては、お困りのお声があれば、私どものほうで対応はさせていただくんですけども、今のところそういう方というのは、今メール、なかなか苦労される方もいらっしゃると思うんですけども、携帯を大体お持ちですので、そういったところに情報を差し上げる。それで、それが見れないなどのお困りがあれば、私どものほうで対応したいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

そうですね、特に年配の方が非常に困っているという部分があるので、そこら辺のサポートをしていただけるのであれば、それはまたそういう形で安心していただけるかなというふうに思っておりますので、引き続きお願いいたします。

それでは、あと、この市内のこの交通インフラに関してなんですけども、先月19日に糸魚川の法人会で、一般公開講演会で、AIを活用型のオンデマンドバスの活用というような、それで地域の公共交通課題解決に向けてということで、そういったことで講演会のほうへ行かせていただいた

んですけども、A I 活用型オンデマンドバスについて、糸魚川市として導入するというんでしょうかね、そういった考える時期に来てるんじゃないかというふうに思っておるんですけども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

法人会のA I オンデマンドバスのお話については、私どもも承知しております。私ども昨年、公共交通計画ということで、マスタープランということで策定をさせていただきました。これをもって、今の現状を公共交通における現状を示したものを、将来的に公共交通については縮小の形にせざるを得ないといったところも訴えかけさせていただいたマスタープランというのを作成しております。これを基に地域に入って、地域の交通としてどういうものが一番いいのかというお話をさせていただこうというふうに考えております。一つの手法として、A I オンデマンドバスという手法が、その地域、糸魚川は谷筋でできておりますので、その谷筋の運用で有利なものであれば、そういう選択肢もあろうかと思えますし、その辺りは地域の方々と一緒に、どういうものがいいのかというのは選択をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

講演の中で、あんまり便利にならないようにというようなことが言われてたと思うんですね。あんまり便利になり過ぎる、なり過ぎるというわけじゃないんですけど、そうするとほかの業者さんのほうに影響があるというようなことで、あんまり便利になり過ぎないのがというようなことを言ってたんで、糸魚川の場合、非常にこう、範囲も広いし、どういったことができるのかというのはちょっと、非常にこの講演を聞いた中では、すぐ導入といいますかね、そこできるのかというのはちょっと難しいのかどうかちょっと分かりませんが、早急にそういったことも必要になってくるのかなというふうに思いましたので、一応させていただきました。

以上で、私の一般質問のほうを終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

以上で、渡辺議員の一般質問が終了いたしました。

1時40分まで、暫時休憩といたします。

〈午後1時29分 休憩〉

〈午後1時40分 開議〉

○議長（古畑浩一君）